

<AI 要約>旅行安全マネジメントセミナー

2024/06/04 使用ツール「Notta」※未加工

要約

この会議記録は、2024 年の安全マネジメントセミナーの内容を記録したものです。主な話題は、観光産業における危機管理と安全対策の重要性でした。各講演者は、自然災害、紛争、テロなどの危機的状況に備えた対応策や、旅行会社の責任と役割について説明しました。具体的には、宿泊施設の安全情報共有プラットフォームの構築、危機発生時の対応マニュアル作成、訓練の実施、旅行会社と自治体との連携強化などが提案されました。また、海外邦人の安全確保のための取り組みや、旅行者への安全教育の重要性も強調されました。

チャプター

予防安全マネジメントセンター2024 の開会

開会の挨拶と本セミナーの目的が説明されました。自然災害や事故、テロなどのリスクに備え、観光産業全体の危機管理能力を底上げすることが重要であると強調されました。

観光産業共通プラットフォームの説明

宿泊施設と旅行会社の間で安全情報を共有するプラットフォームについて説明がありました。宿泊施設の基本情報、営業情報、災害発生時の被害状況などを一元的に管理できるシステムです。災害発生時の情報収集と共有を効率化し、お客様への正確な情報提供を目指しています。

海外邦人の安全対策

外務省から最近の国際情勢を踏まえた安全対策について説明がありました。危険情報の発出基準、自然災害発生時の対応、中東情勢の影響、渡航者への連絡体制などが説明されました。また、旅行者に対する安全教育の重要性が強調されました。

旅行会社の責任と役割

旅行会社の安全管理責任と具体的な対応策が説明されました。安全方針の策定、自主点検、訓練の実施、マニュアル作成などが重要であると指摘されました。また、お客様の安全確保だけでなく、地域社会の安全にも貢献する役割があると述べられました。

行動項目

宿泊施設と旅行会社の間で安全情報を共有するプラットフォームに参加し、情報の一元化と効率的な共有を図る

危機発生時の対応マニュアルを作成し、定期的な訓練を実施する

自治体や関係機関と連携し、地域全体の危機管理体制を強化する

旅行者に対する安全教育を徹底し、危機意識の向上を図る

海外渡航時の安全対策を強化し、外務省の危険情報や安全対策に注意を払う